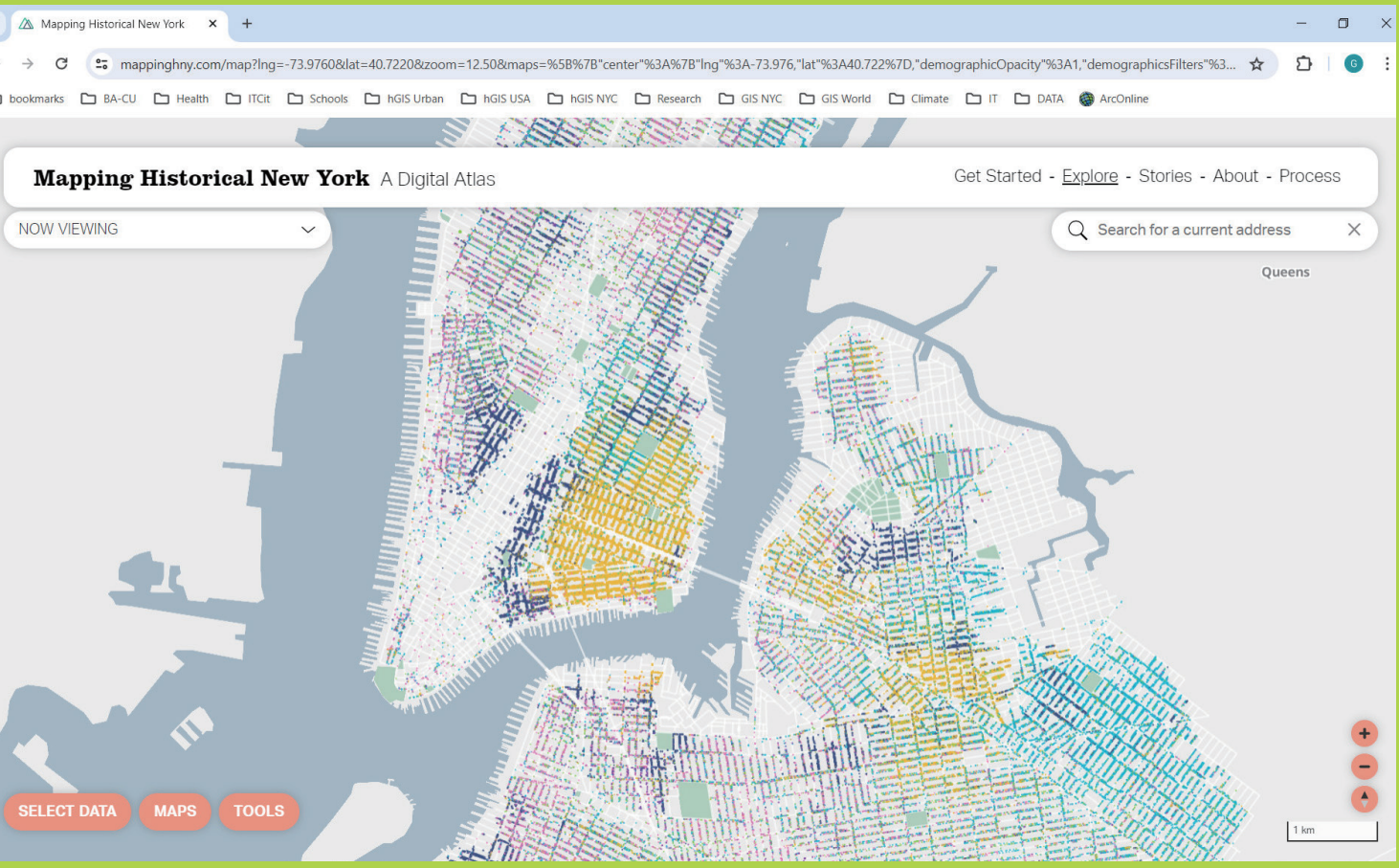
立教アメリカ研究セミナー

Applications of Digital Spatial History for 19th-Century New York City



デジタル・ヒストリーの手法を都市史・都市研究に持ち込むことでなにが見えてくるのか。また、そのデジタル・ヒストリーの方法とはいかなるものか。近年注目が高まるこの研究領域の動向について、19 世紀アメリカ合衆国ニューヨーク市を事例に検討する。高い評価を得た Mapping Historical New York などを手がけ、今また 19 世紀ニューヨークの黒人コミュニティの 3D 再現プロジェクトにも関わる Gergely Baics 氏を招き、デジタル空間史の現状と可能性について議論する。

講　師：Gergely Baics（コロンビア大学バーナードカレッジ准教授）

司　会：松原 宏之（立教大学文学部教授・アメリカ研究所所長）

2024 年 6 月 7 日（金）18:00 ～ 20:00

対面会場

立教大学池袋キャンパス
11 号館 A302 教室

定員先着 50 名

対　面　用

オンライン配信

ZOOM ウェビナー

定員先着 500 名

オンライン用

上記の対面用・オンライン用ご希望の参加方法に合わせて QR コードからお申し込ください

お問合せ：立教大学アメリカ研究所（E-mail:ramins@rikkyo.ac.jp　Tel:03-3985-2633）